

脱炭素先行地域を通じた事例について

～自然エネルギー100%の村づくりへ挑戦～



大 瀧 村



秋田銀行

# ○本日の登壇者

## 大 潟 村

村長 高橋 浩人  
(たかはしひろと)



年齢 65歳  
出身地 秋田県能代市 (旧二ツ井町)  
当選 5回  
任期 令和10年9月

## 秋田銀行

取締役常務執行役員 三浦 力  
(みうら ちから)



年齢 57歳  
出身地 秋田県男鹿市  
入行 平成3年4月  
常務就任 令和4年6月

# ○大潟村について

- ・秋田県北西部に位置し、かつて琵琶湖につぐ日本第2の広さを誇る八郎潟を、「国営八郎潟干拓事業」により干拓。湖底に「大潟村」が誕生。



# ○大潟村の特徴

- 集落「総合中心地」が  
2 k m×1 k mの1カ所に集中
- 人口約2,965人、人口の8割が専業稲作農家
- 耕作面積 約9,000ha 平均約18ha/1戸
- 「コメ」の年間生産量約61,000トン  
年間生産額 約110億円  
(全国市町村中トップ6位(県内3位))
- 「もみ殻」の年間発生量 約12,000トン



# ○脱炭素先行地域の提案概要

- ・ もみ殻バイオマスボイラーによる地域熱供給
- ・ 公共施設等への自家消費型太陽光発電（オンサイトPPA）
- ・ 遊休地へのメガソーラー発電所設置（オフサイトPPA）
- ・ 公共施設の省エネ化、公用車のEV化



# ○事業実施主体の立ち上げ



会社名：株式会社 オーリス（ORES）

**OGATA RENEWABLE ENERGY SERVICE**

設立：令和4（2022）年7月15日

事業内容：自然エネルギー発電供給事業  
自然エネルギー熱供給事業  
自然エネルギー普及・啓蒙事業

資本金：4,350万円

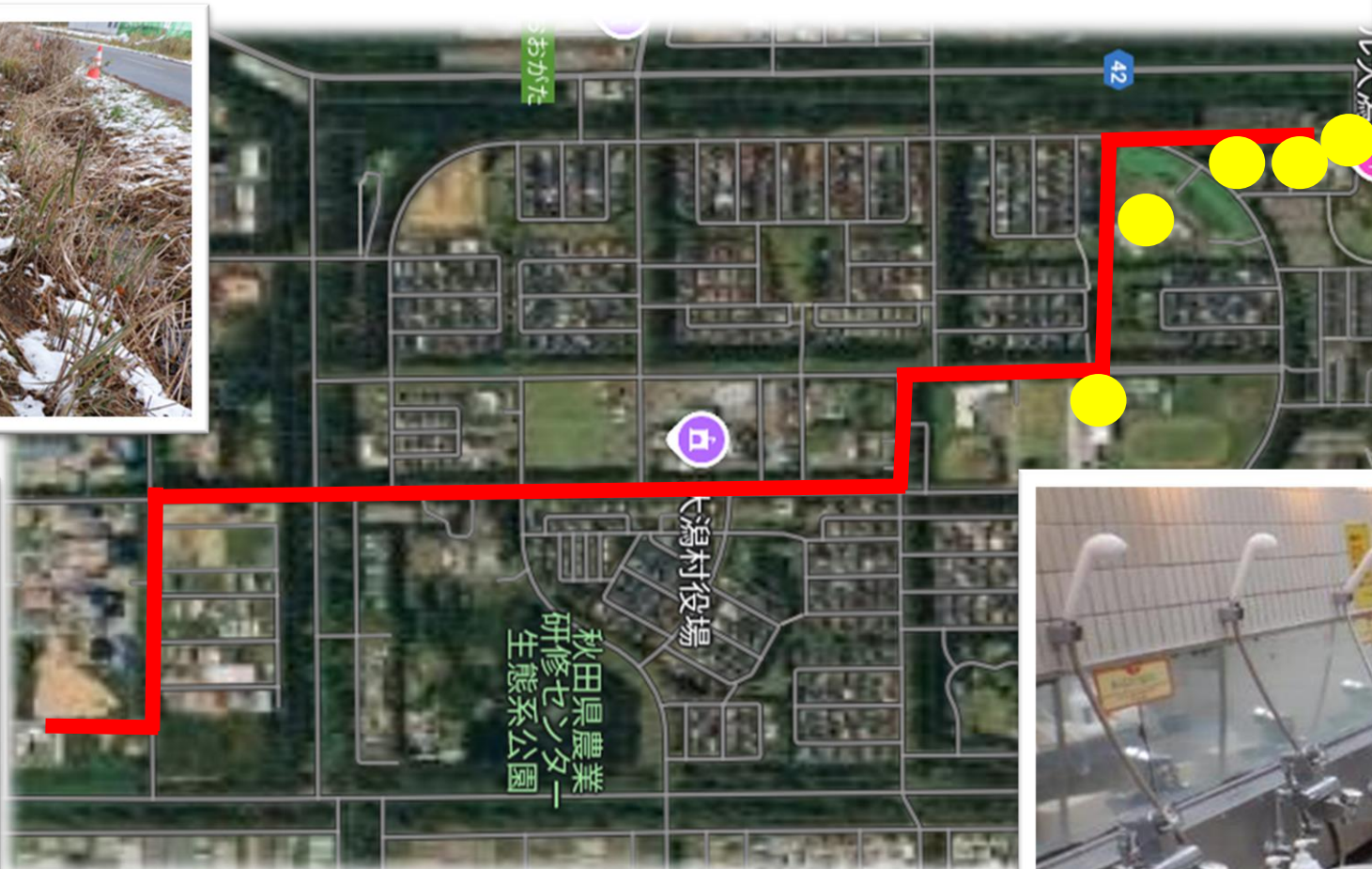
株主：大潟村、(株)秋田銀行、  
(株)大潟村カントリーエレベーター公社  
等の19社・団体  
(村内68%、村外32%)

# ○事業実施スキーム



# ○個別事業内容 もみ殻バイオマス地域熱供給①

- 発生量の約半分が未利用資源となっている**もみ殻**を燃料とするボイラーを設置し、熱導管を介して公共施設へ熱供給を行う。





# ○個別事業内容 もみ殻バイオマス地域熱供給②

- ・ 低温燃焼後のもみ殻を燻炭状で排出し、農地への還元を行うことで、農業における資源の循環を行う。



・ 育苗時の床土への混合



労力の軽減



・ 水田へ投入



土地改良材  
炭素固定



# ○秋田銀行の経営理念

## 「地域共栄」 ～地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える～

### ➤ 中・長期的なビジョン

**価値をつくる。未来へつなぐ。**

地域の課題を解決し、お客さまのニーズに応える  
質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、  
将来にわたる豊かな地域の実現にチャレンジし続けます

### ➤ サステナビリティ経営方針

「地域共栄」の経営理念のもと、地域課題の解決および環境課題への対応、顧客ニーズに応える質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、将来にわたる豊かな地域を実現するとともに、秋田銀行の持続的な成長・企業価値向上を目指す。

# ○もみ殻バイオマス地域熱供給事業への支援

## ①地域エネルギー会社の設立



- 自然エネルギーによる電力および熱を供給する事業体（株オーリス）を村内に設立
- 秋田銀行は出資のみならず、職員の出向等による人材支援も実施

## ②もみ殻を活用したバイオマス熱供給事業



- 環境省交付金と銀行融資による資金調達でもみ殻ボイラーを設置

## ③秋田銀行との連携

### 行員の出向

- 秋田銀行の本部行員 2 名が、大潟村およびオーリスへ出向中。
- 出向者は、脱炭素先行地域事業に従事

### 連携の窓口

- 出向者が、大潟村、オーリスと秋田銀行の橋渡し役を担い円滑な事業推進をフォロー

### 融資の実行

- 2022年 7 月にオーリスへ出資。事業構築支援等の多岐にわたる支援を実施
- 2023年 6 月にもみ殻バイオマス熱供給事業に対して融資を実行

## ④自然エネルギー100%の村への展開

### 大潟村の基本理念

- 自然と農業人が共生する村
- 農業と地域経済の好循環
- 安全、安心で快適な生活環境の整備

### 今後の展開

- 太陽光発電と蓄電池による自然エネルギーによる電力供給
- 村内施設のZEB化、EVの導入



【もみ殻倉庫】



【熱導管】



【太陽光発電】

## ○最後に

- ・ 大潟村のカーボンニュートラルに向けた挑戦はスタート地点
- ・ 先進的な取り組みだからこそ、困難な局面も想定される
- ・ 産学官民金による分野横断的な協力体制の構築が重要
- ・ 「脱炭素ドミノ」のモデルケースを目指したい



ご静聴ありがとうございました



大 潟 村



秋田銀行

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS